

第3章 原子力災害中長期対策

【主な実施機関】 各班共通

第1節 基本方針

市は、国や県と協議のうえ、必要な場合、以下により、原子力災害により放射性物質又は放射線に汚染された物質の除去、各種制限措置の解除等の計画を定めるとともに、住民の感情に配慮し、社会秩序及び経済活動の回復を図るため、早期の復旧活動を実施する。

第2節 放射性物質による環境汚染への対処

県は、国、関係市町、原子力事業者その他防災関係機関とともに、放射性物質による環境汚染への対処について必要な措置を行う。

第3節 各種制限措置の解除

市は、被災地の状況を勘案し、原子力災害応急対策として実施された、立入制限、交通規制、飲料水、飲食物の摂取制限、農林畜水産物の出荷、摂取制限等に関する各種制限措置の解除が適切と判断された場合、県と連携し、解除手続を速やかに実施する。

第4節 環境放射線モニタリングの実施と結果の公表

市は、県が原子力事業者その他防災関係機関と協力して行う環境放射線モニタリングの実施及び結果の公表に協力する。

第5節 損害賠償請求計画

1 災害地域住民の登録

市は、県と連携し、将来の医療措置、損害賠償請求等に資するため、退避及び避難等を行った住民等に対し、被災地住民登録を実施し、災害発生時にその地域に所在し

た旨を証明する措置を実施する。

2 損害調査

市は、県と連携し、損害賠償の請求等に資するため、次に掲げる事項に起因して市内において被災者が受けた損害を調査する。

- (1) 退避及び避難措置
- (2) 飲料水、飲食物及び農林畜水産物等に対する各種制限措置
- (3) 立入制限措置
- (4) 農耕制限措置
- (5) その他必要と認められるもの

3 諸記録の作成

市は、県と連携し、汚染状況調査に基づく被災地全体の汚染状況図、応急対策及び復旧対策として措置した諸記録を作成する。

第6節 風評被害等の影響の軽減

市は、国及び県と連携し、原子力災害による風評被害等の未然防止又は影響を軽減するため、安全性が確認された後は、科学的根拠に基づく農林畜水産業、地場産業の商品等の適正な流通の促進や観光客の誘致促進等のため、速やかに広くかつ継続的にテレビ、ラジオ、新聞、雑誌等の媒体、インターネット等を積極的に活用して安全性に係る広報活動を行う。

第7節 住民相談体制の整備

市は、国及び県と連携し、住民からの様々な相談、問い合わせに対応できるよう、必要に応じて総合的な相談窓口を設置し、安全性に関する情報等の積極的な提供に努める。

第8節 被災中小企業、被災農林畜水産業者等に対する支援

市は、国及び県と連携し、必要に応じ、被災中小企業に対する災害復旧高度化資金貸付、小規模企業設備資金貸付、経営安定資金（経営強化）等により、設備復旧資金、運転資金の貸付を行うとともに、被災農林畜水産業者に対して、経営の維持安定に必

要な資金について、円滑な貸付、必要枠の確保など適切な措置を講じる。

また、これらの資金貸付等に関し、関係金融機関に対し、資金の円滑な貸付及び既貸付金の償還猶予が図られるよう、被害の実情に即し適切な指導を行う。

なお、被災中小企業、被災農林畜水産業者等に対する援助及び助成措置について広く被災者に広報するとともに、相談窓口を設置する。

第9節 心身の健康相談体制の整備

市は、国からの放射性物質による汚染状況調査や、原子力災害対策指針に基づき、国及び県とともに、住民に対する心身の健康相談及び健康調査を行うための体制を整備し実施する。

第10節 復旧・復興事業からの暴力団排除

市は、県警察による復旧・復興事業からの暴力団排除に協力する。県警察は、暴力団等の動向把握を徹底し、復旧・復興事業への参入・介入の実態把握に努めるとともに、関係行政機関、県、業界団体等に必要な働きかけを行うなど、復旧・復興事業からの暴力団排除活動の徹底に努める。

用語解説

○ クリプトン、キセノン

クリプトン (krypton) は原子番号 36 の元素。元素記号は Kr。希ガス元素の一つ。キセノン (xenon) は原子番号 54 の元素。元素記号は Xe。希ガス元素の一つ。

○ 放射性希ガス

希ガス (He : ヘリウム、Ne : ネオン、Ar : アルゴン、Kr : クリプトン、Xe : キセノン、Rn : ラドン) の内、放射能を持つものを放射性希ガスと言い、原子力関係者の間では単に希ガスと呼ぶこともある。

○ 放射性プルーム

気体状 (ガス状あるいは粒子状) の放射性物質が大気とともに煙突からの煙のように流れる状態を放射性プルームという。

放射性プルームには放射性希ガス、放射性ヨウ素、ウラン、プルトニウムなどが含まれ、外部被ばくや内部被ばくの原因となる。

○ 放射性セシウム

放射線を出す能力 (放射能) を持つ放射性物質の一種。セシウム 137 の場合、放射能が半分になる期間「半減期」が 30 年と長い。体内に入ると、将来、がんになる心配があり、食べ物などを通じて取り込まないように気をつける必要がある。

○ 放射線

放射線とは、高い運動エネルギーをもって流れる物質粒子 (イオン、電子、中性子、陽子、中間子などの粒子放射線) と高エネルギーの電磁波 (ガンマ線、X 線のことで電磁放射線) の総称を言う。通常、電離放射線の名で定義され、物質を通過する際に直接、あるいは間接にその物質の原子を電離する能力を持つ。

○ 放射性物質

放射性物質とは、放射能を持つ物質の総称である。主に、ウラン、プルトニウム、トリウムのような核燃料物質、放射性元素もしくは放射性同位体、中性子を吸収又は核反応を起こして生成された放射化物質を指す。

○ 放射線被ばくによる確定的影響

放射線に被ばくすると、その線量に依存し、当人への「身体的影響」(母親では「胚・胎児影響」とその子孫への遺伝的影響が考慮される。これらの影響は、

被ばく量による発症の違いから、「確定的影響」と「確率的影響」に分類される)。急性障害（嘔吐、脱毛）や不妊、白内障などの身体的影響は確定的影響である。晩発性の身体的影響（白血病と固形がん）や子孫に伝わる遺伝的影響は確率的影響である。

○ モニタリング

モニタリング (Monitoring) は監視、あるいは観察すること。

○ リスク

自然現象や人間の行為が、人間の生命、財産、生存環境などに損害を与える恐れがあること、あるいはその恐れのこと。リスクは確実な予想はできないが、定量的に評価するには、発生する可能性のある損害の規模と発生確率を考慮する必要がある。

○ 緊急時活動レベルEAL

EAL (Emergency Action Level) とは、原子力発電所において事故が発生した場合、緊急事態の深刻さを検知し、どの緊急事態区分に属するかを判断するために用いられる、特有の事前に定められた観測可能な基準と施設の状態をいう。

EALレベルについては、各原子力発電所で発生し得る異常や事故を分類、整理し、緊急事態区分ごとの判断基準として、事業者が具体的に定める必要があるとされ、プラント（原子炉や使用済燃料プール等）の状態（各種パラメータ）の変化、深層防護を構成する各種設備の状態、放射性物質の閉じ込め機能の状態、外的事象の発生に着目して設定することとしている。

○ 安定ヨウ素剤

原子力施設などの事故に備えて、服用のために調合した放射能を持たないヨウ素のこと。事故で環境中に放出された放射性ヨウ素が、呼吸や飲食により体内に吸収されると、甲状腺に蓄積され、放射線障害が生じる可能性がある。これを防ぐために安定ヨウ素剤を予め服用し、甲状腺を安定ヨウ素で満たしておくことにより、事故時に体内に吸収された放射性ヨウ素は、甲状腺には取り込まれず、大部分は体外に排出され、放射線障害の発生を極力防止する。

○ スクリーニング

選別するという意味であり、原子力施設周辺の地域住民等が、原子力災害の際に放射能汚染の検査や、これに伴う医学的検査を必要とする事態が生じた場合は、救護所において、国の緊急被ばく医療派遣チームの協力を得て、身体表面に放射

性物質が付着している者のふるい分けを実施する。これをスクリーニングという。

○ 放射性核種

原子の核種のうち放射線を放出するものをいう。

◇アルファ線を出すもの

- ・ラドン 222 (Rn-222)
- ・ウラン 238 (U-238)
- ・プルトニウム 239 (Pu-239)
- ・プルトニウム 240 (Pu-240)

◇ベータ線を出すもの

- ・トリチウム (H-3)
- ・鉛 214 (Pb-214)
- ・ビスマス 214 (Bi-214)
- ・ストロンチウム 90 (Sr-90)
- ・ヨウ素 131 (I-131)

◇ガンマ線を出すもの

- ・カリウム 40 (K-40)
- ・鉛 214 (Pb-214)
- ・ビスマス 214 (Bi-214)
- ・セシウム 137 (Cs-137)
- ・コバルト 60 (Co-60)

○ 空間放射線量率

空間に存在する放射線の単位時間あたりの量。サーベイメーターやモニタリングポストによって測定される。単位はナノグレイ毎時 (nGy/h) またはマイクロシーベルト毎時 (μ Sv/h)。放射性物質の漏出などの異常が発生していないか監視するために、原子力施設の周辺で常時測定されている。

○ β 線

ベータ粒子は、放射線の一種で、その実体は電子または陽電子である。ベータ粒子の流れを、ベータ線と呼ぶ。普通「ベータ線」という場合は、負電荷を持った電子の流れを指す。

原子核 (中性子) が β 崩壊する際に高速で放出される電子、または陽電子のことをベータ粒子という。

○ μ Sv/h

シーベルト (sievert) とは、生体の被曝による生物学的影響の大きさを表す単位である。SI 単位の一つである。

$1\text{Sv}=1,000\text{mSv}$ (ミリシーベルト) $=1,000,000\mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)

○ Bq

ベクレル (英語: becquerel、記号:Bq) とは、放射性物質が 1 秒間に崩壊する原子の個数 (放射能) を表す単位である。ある放射性物質について 8 秒間に原子が 370 個だけ崩壊するのであれば、その放射性物質の放射能は 46.25 ベクレル (Bq) である。

○ I A E A

国際原子力機関 International Atomic Energy Agency、略称: I A E A は、国際連合傘下の自治機関である。

原子力の平和的利用の促進、原子力の軍事的利用に転用されることの防止を目的としている。